

## 全国月間火山概況（平成 29 年 4 月）

桜島の昭和火口では、噴火が 19 回発生しました。南岳山頂火口では、噴火が 2 回発生しました。始良カルデラの地下深部の膨張が継続していることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態であることから、引き続き噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

西之島では、20 日に海上保安庁が実施した上空からの観測により、噴火が確認されました。気象衛星ひまわりにより 19 日夜から周囲に比べて地表面温度の高い領域を観測しています。

今後も噴火が継続する可能性がありますので、20 日に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。火口から概ね 1.5 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山では、東京工業大学による湯釜湖水の解析によると、2014 年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続き、火山活動が活発な状態であることを示していましたが、2016 年半ばには、濃度の上昇傾向は止まり、2017 年に入って、減少傾向がみられ始めています。

火山活動には、静穏化の傾向がみられ始めたものの、引き続き、小噴火が発生する可能性があります。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2015 年 4 月頃から高まった状態で経過しており、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

御嶽山では、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、長期的に熱異常域の拡大や噴気の量の増加が認められている中で、25 日から硫黄山付近が隆起する傾斜変動がみられ、5 月 9 日現在も継続しています（期間外）。また、東京大学地震研究所が 5 月 8 日に実施した現地調査により、硫黄山火口内で泥状の噴出物が確認されました。

この様に、えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動が高まっており、今後、小規模な噴火が発生するおそれがあると判断したことから、5 月 9 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、時々噴火が発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

表1 平成29年5月11日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山、浅間山、御嶽山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、白山、箱根山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、島海山、栗駒山、鳴子、沼沢、燧ヶ岳、高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺、新燃岳及び御鉢以外）、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

## 【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

### 草津白根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

東京工業大学による湯釜湖水の解析では、2014年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続き、火山活動が活発な状態であることを示していましたが、2016年半ばには、濃度の上昇傾向は止まり、2017年に入って、減少傾向がみられ始めています。全磁力<sup>1)</sup>観測では、2014年5月頃からみられていた湯釜近傍地下の温度上昇を示唆する変化は、2014年7月以降停滞しています。

火山活動には、静穏化の傾向がみられ始めたものの、引き続き、小噴火が発生する可能性があります。湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>2)</sup>に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石<sup>2)</sup>が遠方まで風に流されて降るため注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出がみられ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

### 浅間山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2015年4月頃から高まった状態で経過しています。また、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量<sup>3)</sup>は多い状態で、微弱な火映<sup>4)</sup>が時々観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### 御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

2014年10月以降噴火の発生はなく、火山活動は緩やかな低下傾向が続いていますが、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### 箱根山[噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。また、地殻変動観測では、特段の変化はみられていません。

一方、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

### 伊豆大島[噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

9日から11日にかけて西方沖を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。12日以降は概ね増加前の状態に戻っています。西方沖では同様の地震活動が2015年3月頃にもみられました。地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。

### ベヨネース列岩[噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁が5月2日(期間外)に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に変色水と気泡が観測されており、火山活動の活発な状態が続いています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物(軽石等)に注意してください。

### 西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]←20日に噴火予報(活火山であることに留意)から火口周辺警報(入山危険)に上げ及び火山現象に関する海上警報を発表

海上保安庁が20日に実施した上空からの観測によると、西之島で噴火が確認されました。気象衛星

ひまわりにより 19 日夜から周囲に比べて地表面温度の高い領域を観測しています。

今後も噴火が継続する可能性がありますので、20 日 16 時 25 分に火口周辺警報（入山危険）、16 時 30 分に火山現象に関する海上警報を公表しました。火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

### **硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]**

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS<sup>5)</sup> 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

### **福徳岡ノ場[噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]**

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

### **阿蘇山[噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]**

阿蘇山では 4 月 27 日以降、火山活動がやや高まった状態で経過しています。

中岳第一火口では、2016 年 10 月 8 日に爆発的噴火<sup>6)</sup>が発生した後、噴火は発生していません。

3 日、13 日、19 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり 700～900 トンでやや少ない状態でしたが、28 日、30 日、5 月 1 日、2 日、4 日（期間外）には、1 日あたり 1,500～1,700 トンとやや多い状態となりました。5 月 8 日（期間外）は 1 日あたり 700 トンとやや少ない状態でした。

また、孤立型微動<sup>7)</sup>は、27 日から増加し、29 日には 778 回を観測するなど多い状態となりました。30 日以降は次第に減少し、5 月 2 日（期間外）以降はやや少ない状態で経過しました。

気象庁機動調査班（JMA-MOT）が 5 月 1 日（期間外）に現地調査を実施した結果、引き続き中岳第一火口内に緑色の湯だまり<sup>8)</sup>を確認し、湯だまり量は前回（4 月 24 日）同様、中岳第一火口底の 10 割でした。土砂噴出は観測されていません。

傾斜計<sup>9)</sup>では火山活動に伴う特段の変化は認められません。また、GNSS 連続観測では、2016 年 7 月頃から認められていた、草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、2016 年 11 月中旬以降は停滞しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体等が実施している立入規制等に留意してください。

### **霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)] ← 5 月 9 日（期間外）に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げ**

えびの高原（硫黄山）周辺では、2015 年 12 月頃から長期的に熱異常域<sup>10)</sup>の拡大や噴気の量の増加が認められています。こうした中で、25 日 11 時頃から硫黄山南西観測点の傾斜計で、硫黄山付近が隆起する傾斜変動がみられ、5 月 9 日現在も継続しています（期間外）。

東京大学地震研究所が 5 月 8 日に実施した現地調査により、硫黄山火口内で泥状の噴出物が確認されました。

この様に、えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動が高まっており、今後、小規模な噴火が発生するおそれがあると判断したことから、5 月 9 日 19 時 20 分に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき<sup>11)</sup>）に注意してください。

### 霧島山（新燃岳）[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では火山性地震が時々発生しました。

地殻変動観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められていません。

新燃岳では、火口内及び西側斜面で弱い噴気や熱異常域が引き続き確認されていることから、今後の火山活動に注意してください。

### 桜島[火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

昭和火口では、26日05時11分に噴火が発生しました。昭和火口で噴火が発生したのは、2016年7月26日以来です。この噴火以降、活発な噴火活動が継続し、4月の噴火回数は19回（3月：なし）で、このうち爆発的噴火は2回でした。28日11時01分の爆発的噴火では、噴煙が火口縁上3,200mまで上がりました。

南岳山頂火口では、噴火が2回（3月：2回）発生しました。

始良カルデラの地下深部の膨張が継続していることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流<sup>12)</sup>に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき<sup>11)</sup>）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

### 口永良部島[火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島では、2015年6月19日のごく小規模な噴火後、噴火は観測されていません。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり100～300トンで経過しています。

現地調査では、噴煙及び熱異常域の状況に特段の変化はみられませんでした。

新岳火口付近のごく浅い地震の増加が時々みられることや、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が2014年8月の噴火前（1日あたり概ね100トン以下）よりもやや多い状態で経過していることから、2015年5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性がります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

### 諏訪之瀬島[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳<sup>おたけ</sup>火口では、時々噴火が発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第4版）による）

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定されます。
- 2) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 4) 赤熱した溶岩や高温のガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象です。
- 5) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 6) 阿蘇山では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した場合に爆発的噴火としています。

- 7) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5~1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が  $5 \mu\text{m/s}$  以上のものを孤立型微動としています。
- 8) 活動静穏期の中岳第一火口には、地下水などを起源とする約  $40\sim 60^\circ\text{C}$  の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいます。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られています。
- 9) 傾斜計とは、火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器です。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。  $1 \mu\text{rad}$  (マイクロラジアン) は 1 km 先が 1 mm 上下するような変化量です。
- 10) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置とは物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 11) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 12) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百 $^\circ\text{C}$ にも達することがあります。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成29年5月11日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
新島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
神津島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
三宅島		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
八丈島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
青ヶ島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）



	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

## (2) その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注) 2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。